

GUブロック

(ガードレール用連続基礎)

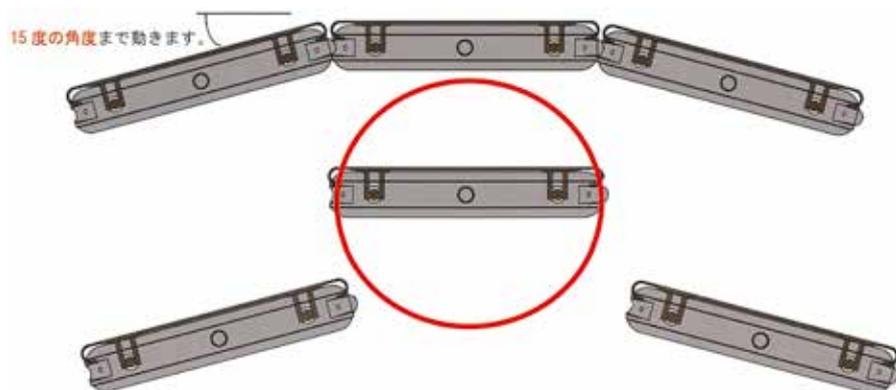
NETIS登録番号：KT-160028-A

路面に置いて使用することを基本に開発した道路規制箇所等に用いられる仮設柵用プレキャストコンクリート基礎ブロックです。埋設、半埋設にも利用できます。



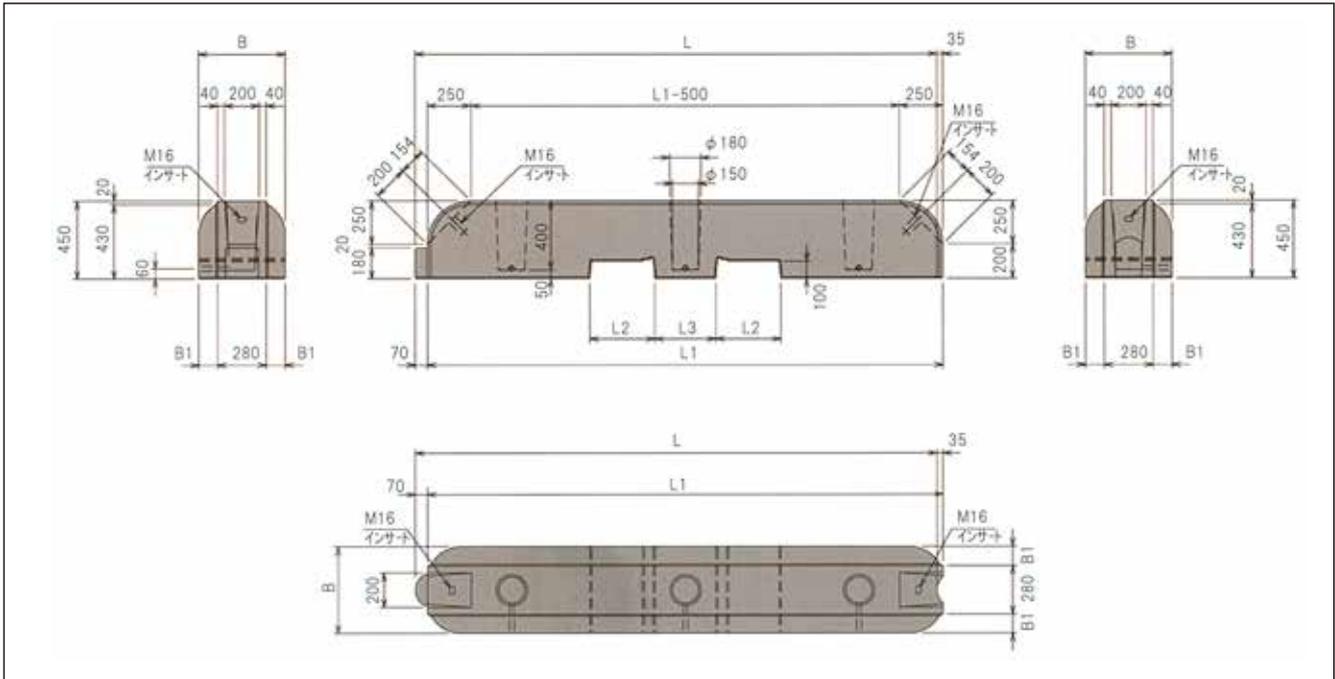
[特 徴]

- 設置・撤去・移動が素早くできます。
- クレーン以外にフォークリフトでも行えます。場合によってはハンドリフターでも設置が可能です。
- クレーン作業でのワイヤー、ベルトスリング用の溝をズレ防止用に設けてあります。
- フォークリフト用の挿入孔は、道路の片勾配による排水孔にもなります。
- ブロック形状は左右対称なため、吊り上げ時のバランスが良く安定します。
- 支柱の差し込み孔には、底を設けて砂漏れを回避しています。
- ガードレールの支柱の位置決めをするためのガイドが底部にあります。
- 破損した場合など、実際に供用している場所での取替はブロック同士がプレート連結のため、六角ボルトを外せば部分的に取外しが出来ます。
- 15度の角度範囲で可動します。それ以上は、ブロック同士が干渉して可動を抑制します。歩道側へ移動する量を制限する安全対策です。





[形状図 (置式タイプ)]

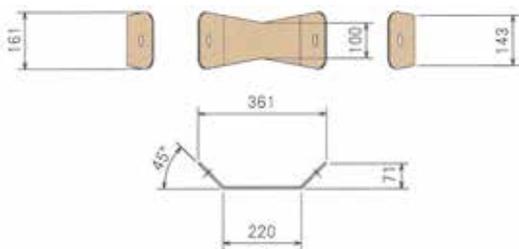


[規格表]

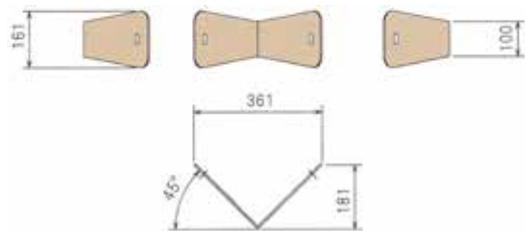
呼び名		寸法 (mm)						支柱部箇所数	参考質量 (Kg)
		B	B1	L	L1	L2	L3		
B = 500	L = 3.0m	500	110	3,000	2,965	375	350	3	1,280
	L = 2.0m			2,000	1,965	200	350	2	850
	L = 1.0m			1,000	965	200	300	1	370
B = 400	L = 3.0m	400	60	3,000	2,965	375	350	3	1,050
	L = 2.0m			2,000	1,965	200	350	2	700
	L = 1.0m			1,000	965	200	300	1	310

※寸法・形状について予告無く変更することがあります。

置式用連結プレート

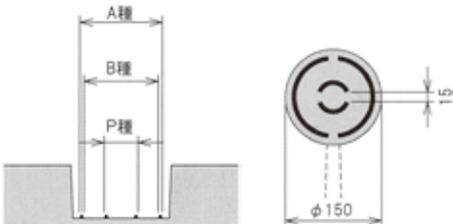


埋設用連結プレート



※連結プレートの寸法は、参考値になります。

支柱部詳細図



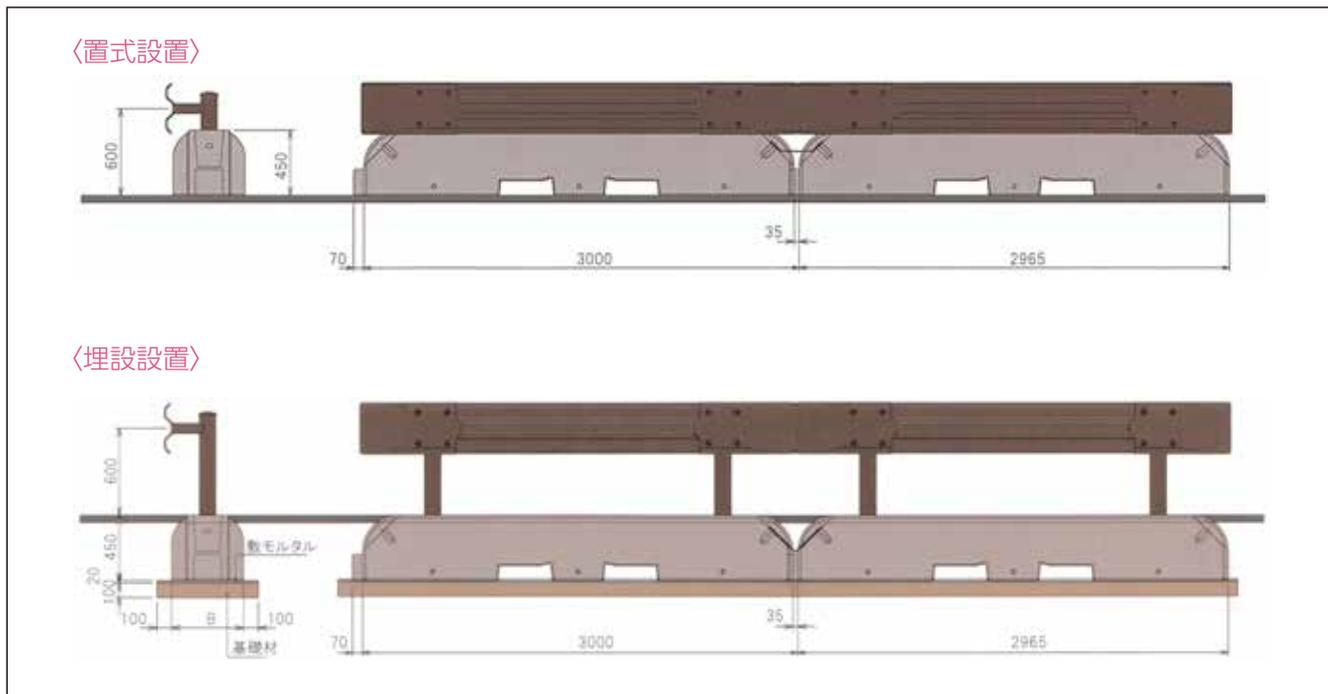
支柱孔の底には突起溝を設けました。各種支柱径に対するガイドとなります。

連結プレート取付写真



取付は、六角ボルトM16ネジ切50mmを基本にします。強度区分4.8以上のものを使用して下さい。なお、プレートの上下に平座金を用います。

[構造図]

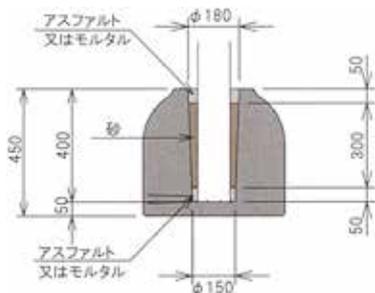


[最低連結延長]

※基礎工の構造は、参考です。設置場所に応じて適宜変更して下さい。
フォークリフト差込穴は、設置後に土砂充填して下さい。

呼び名	置式設置	埋設設置
B = 500	25m	24m
B = 400	38m	31m

支柱固定方法 砂詰め充填にて支柱建込をします。



10箇所当り

支柱径 (mm)	アスファルト又はモルタル (㎡)	砂 (㎡)
φ60.4 (P種)	0.082	0.246
φ114.3 (B・C種)	0.040	0.119
φ139.8 (A種)	0.020	0.059

曲線部施工

製品長 L = 1.0m
(B = 500 タイプの場合) での最少半径



R=4.0m ライン

内アールの場合は、製品幅分だけ最少半径が小さくできます。
アールに配置する場合は、ガードレールのレール長さが増減します。

製品長 L = 2.0m
での最少半径



R=8.0m ライン

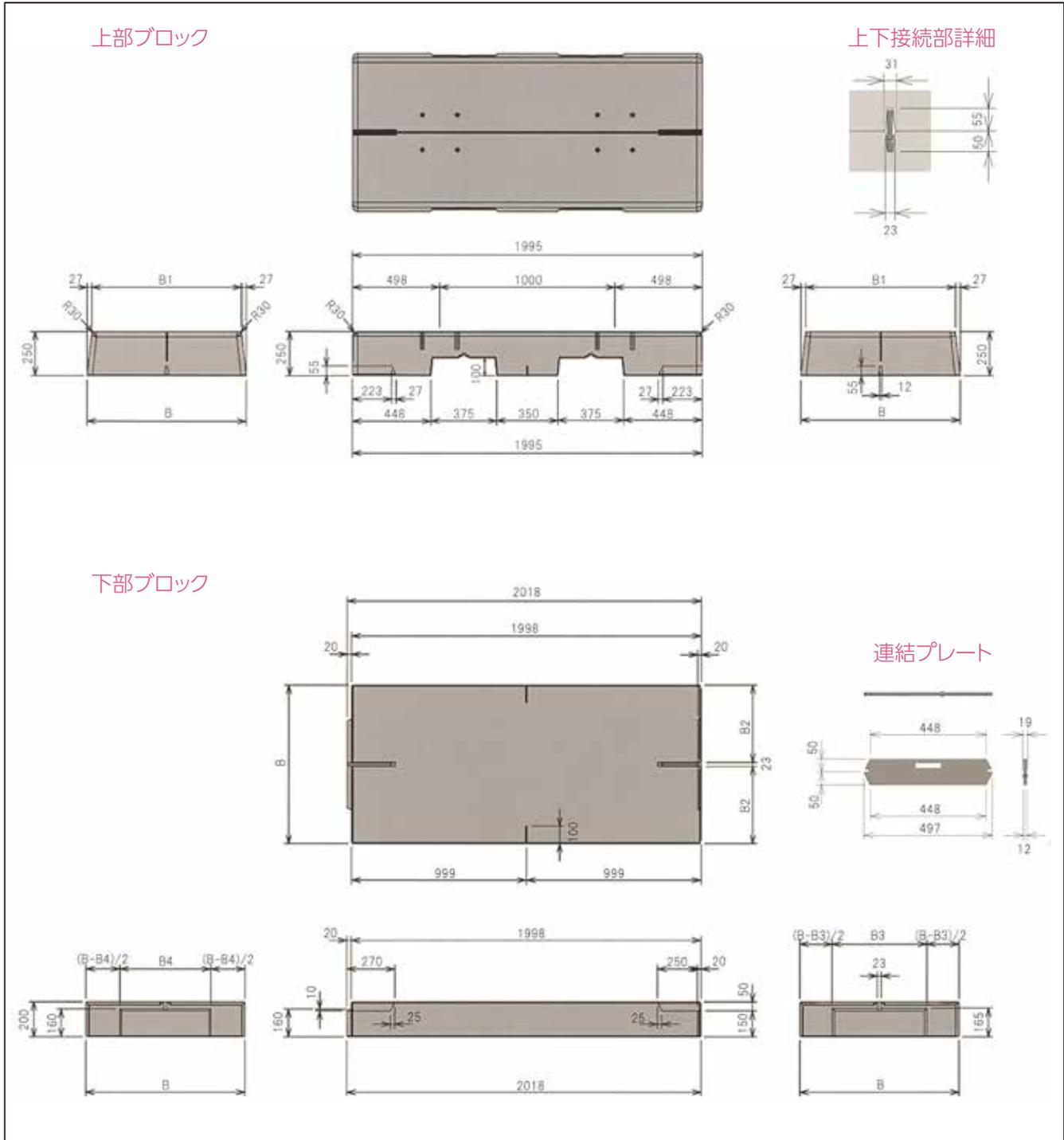
製品長 L = 3.0m
での最少半径



R=12.0m ライン



[形状図 (中央分離帯タイプ)]



[規格表]

呼び名		寸法 (mm)					参考質量 (Kg)
		B	B1	B2	B3	B4	
上部ブロック	0.909m	909	855	-	-	-	870
	1.000m	1,000	946	-	-	-	960
	1.250m	1,250	1,196	-	-	-	1,210
下部ブロック	0.909m	909	855	443	540	520	850
	1.000m	1,000	946	489	540	520	930
	1.250m	1,250	1,196	614	790	770	1,170

*寸法・形状について予告無く変更することがあります。